

# 2023年度合格目標版

一目でわかる!  
覚えてしまう!

## 一発合格 中小企業診断士 1次試験

# まとめ

# シート

# 後編

経済学・経済政策  
経営法務 経営情報システム  
中小企業経営・中小企業政策

### 経営指標】

指標	中小企業の推移
売上高	2021年第1四半期を底に緩やかな増加傾向
経常利益	2020年第3四半期を底に緩やかな増加傾向
設備投資	2020年は減少傾向→ 2021年はわずかに増加
ソフトウェア投資	2021年に入り増加傾向→ 大企業より低い水準
研究開発費	
前払費用	

### 開業率と廃業率（業種別）

	開業率	廃業率
①	宿泊・飲食サービス	宿泊・飲食サービス
②	生活関連サービス・娯楽	生活関連サービス・娯楽
③	電気・ガス・熱供給・水道	金融・保険

野網美帆子 著  
中小企業診断士

図解の密度が  
違えます!



独学者の  
強い味方!

初学者でも  
全体像が一目で  
わかる!

楽しい  
イラストや  
語呂合わせで  
覚えてしまう!



基本のテキスト 書籍

## 一発合格まとめシート



前編(経営、財務、運営)  
後編(経済、法務、情報、中小)  
価格:3,300円(税込)



試験の重要ポイントを1枚に凝縮した「まとめシート」で、試験の全体像と要点が一目でわかる!

学習内容の理解度チェックに 電子書籍

## 一発合格まとめシート 理解度チェックテスト(全7科目)

まとめシートの内容がベースの確認テストです。独学者の強い味方!

耳からのインプットに ダウンロード教材

## 一発合格まとめシート音声教材



科目別  
価格:990円(税込)  
前編セット **5%OFF**  
価格:2,822円(税込)  
後編セット **5%OFF**  
価格:3,762円(税込)

一発合格まとめシートのテキスト部分を読み上げ、音声化。通勤中や家事・育児の最中、運動中のながら学習ダウンロード用音声教材



科目別  
価格:550円(税込)  
前編セット **5%OFF**  
価格:1,568円(税込)  
後編セット **5%OFF**  
価格:2,090円(税込)

## 一次試験合格

二次試験の解き方を知る 電子書籍

## 「まとめシート」流! ゼロから始める2次対策

2次試験の解き方や概要を2次試験の前提知識ゼロの方にも丁寧に解説します

価格:880円(税込)



過去問演習のお供に 電子書籍

## 「まとめシート」流! 解法実況(事例Ⅰ~Ⅲ)

R4~H24年度(年度別)80分で現実的な合格答案を書くために何を考え、どのように処理をすべきかを実況中継方式で解説します。予備校の模範解答を見ても凄すぎてとても80分で書ける気がしない...そんな方にぜひ読んでいただきたいシリーズです。

年度別価格:550円(税込)

5年セット価格:2,612円(税込) **5%OFF**

10年セット価格:4,950円(税込) **10%OFF**



## 二次試験合格

## 中小企業診断士

弱点補強に 電子書籍



資格試験に挑む社会人のための「まとめシート」流 数学が超苦手な方のための数学講座  
価格:550円(税込)



資格試験に挑む社会人のための「まとめシート」流 手計算が早くなる計算ドリル  
価格:330円(税込)



ご購入はこちらから!

まとめシートストア  
<https://matome-sheet.store/>



# 目次

第1章	はじめに.....	2
1.	はじめに.....	2
2.	まとめシートの効果的な使い方.....	5
第2章	経済学・経済政策.....	8
1.	経済学・経済政策の概要.....	8
2.	まとめシート.....	9
第3章	経営法務.....	90
1.	経営法務の概要.....	90
2.	まとめシート.....	91
第4章	経営情報システム.....	182
1.	経営情報システムの概要.....	182
2.	まとめシート.....	183
第5章	中小企業経営・中小企業政策.....	258
1.	中小企業経営・中小企業政策の概要.....	258
2.	まとめシート.....	259

# 第1章 はじめに

## 1. はじめに

### 著者より

本書をお手に取っていただきありがとうございます。

本書をご覧になっていただいているということは、あなたは中小企業診断士の試験に挑戦中もしくは、挑戦しようかどうか検討中の方だと思います。

中小企業診断士試験（以下、「診断士試験」と略します。）は、現代のビジネスの場で必要とされる知識が求められる試験であり、1次試験の勉強を通じて幅広いビジネス知識を、2次試験の勉強を通じてその応用力を身につけることができます。しかしその反面、膨大な知識のインプットは非常に大変な作業であり、1次試験の知識をインプットするだけでも、1科目当たり300ページから400ページあるテキストを7科目分せせと読み込まなければいけません。また、それだけ学習範囲の広い試験ですので、1次試験を突破するためだけでも、平均1,000時間程度の時間が必要になると言われています。

しかし、診断士試験を受験される方は、仕事でも家庭でもそれぞれ重要な役割を果たしておられるため、それらと両立しながら勉強時間を確保することは大変なことです。よって、受験するかしないかを決めることも一大決心だと思いますし、せっかく受験すると決めたのであれば、確実に合格したいという想いも強いと思います。お忙しい中で確実に合格するためには、スキマ時間の活用などによる時間の確保と、効率の良い知識インプット、問題演習の実践が不可欠です。

本書は、診断士試験の受験を検討中の方には診断士試験に必要な知識の全体像をビジュアルで把握していただくことを、受験勉強中の方には今年の試験に合格するための知識を重要論点だけに絞って効率良く獲得していただくことを目的としたテキストです。

本書の1番の売りである「まとめシート」は各主要論点を各1枚のシートにまとめ、その論点の内容が一目でわかるようにしたものです。このまとめシートを活用することで、多忙な受験生でも

- ・ 診断士試験に必要な知識を俯瞰する
- ・ 今年の診断士試験に必要な知識の範囲と分量を効率的に獲得する

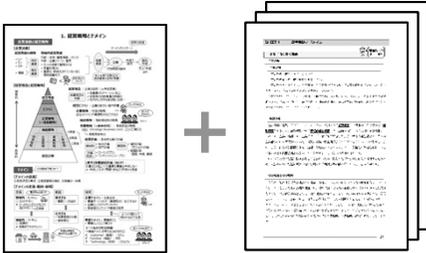
ことが可能となります。それぞれのまとめシートの後には、より詳細な説明をテキストとしてご用意しておりますので、理解を一層深めていただくことができます。さらに、「すぐやる！過去問コーナー」で、まとめシート・テキストで得た知識をアウトプットすれば、知識をより定着させることができます。

# まとめシートの効果的な使い方

## まとめシートの使い方

### まとめシートの構成

論点毎にまとめシート+テキスト3~5ページ  
 ✓テキストの最後には「すぐやる!過去問コーナー」も掲載



まとめシート

テキスト

## ツールを活用しよう

スマホに入れてスキマ時間の有効活用にも!

### 【購入特典 まとめシートPDF】

購入特典として、まとめシートHPよりまとめシートのPDFデータがダウンロード可能



購入特典ダウンロード用ページ

以下の2タイプがダウンロード可能  
 ✓暗記に便利なカラー版  
 ✓まとめシートと同じ白黒版

カラー版は赤シートをかぶせれば暗記に便利



YouTubeでも解説してます



YouTube  
 「まとめシート流! 絶対合格チャンネル」

### まとめシートの使い方

- ①まとめシートを眺める  
 どんなことが書いてありそうか自分なりにストーリーを頭に描く
- ②テキスト部分を読む  
 ①でイメージしたことと答え合わせのつもりで読む
- ③もう一度まとめシートを見る  
 テキストの内容を思い出しながらもう一度見る
- ④問題を解く **重要!**  
 「すぐやる!過去問コーナー」の問題で知識の使い方を知り、知識を定着させる

### 【別売】

理解度のチェック

1科目の学習が終わるごとに、チェックテストで理解度を確認

スキマ時間を活用

購入特典PDFをスマホなどに入れて、スキマ時間に眺めて記憶を定着させる

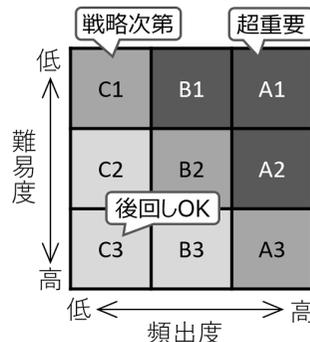


音声教材でながら学習も◎

※別売の音声教材、チェックテストに関しては巻末の案内をご覧ください

独学者の強い味方! どこに力を入れればいいのかすぐわかる

### 【頻出度×難易度を踏まえた優先度表示】



まとめシートのキャラクター「まっち」が優先度を表示



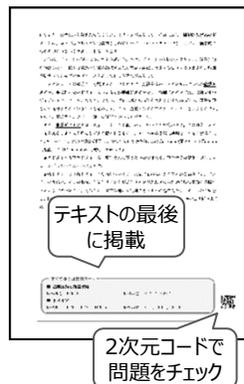
**超重要**  
 頻:A 難:1

頻: 頻出度(A~C)  
 難: 難易度(1~3)

優先度の表示基準

問題の使い方を知り、アウトプットで知識を定着

### 【すぐやる! 過去問コーナーと「論点別過去問集」】



まとめシートで学習した論点に関連の深い過去問を掲載

#### レベル1

みんなが解ける  
 簡単~普通レベルの問題

#### レベル2

応用が必要な  
 やや難しいレベルの問題

#### レベル3

解けなくても仕方がない  
 非常に難しいレベルの問題

掲載せず

初学者・独学者必見! 勉強法の参考に

### 【勉強法がわかるコラム】

勉強法など試験対策に役立つコラムも掲載



勉強の合間にチェックしよう



アプリに入れて便利に暗記

### 【暗記カード用データ】

単語カードアプリなどに入れて暗記に活用できる暗記カード用データがダウンロード可能

※ 情報、中小のみ

購入特典として、まとめシートHPより「論点別過去問集」のデータがダウンロード可能

## 第2章 経済学・経済政策

### 1. 経済学・経済政策の概要

経済学は、現実の経済をモデル化して分析することで、現実の経済現象を説明しようという学問です。経済学は大きく個々の企業や個々の消費者、ある特定の財の市場について分析する「ミクロ経済学」と国全体の経済を分析する「マクロ経済学」の2つの分野に分かれます。

#### ミクロ経済学

ミクロ経済学では、まず、個々の企業の行動を理解するため、企業は生産量をどのように決めるのかについて分析します。企業の行動を分析することで、企業は価格がいくらであればどれくらいの量の製品を生産するのか、という供給曲線を導くことができます。

次に、消費者がどのような消費行動をとるかということを理解するため、消費者は効用（＝満足度）を最大化するように行動するという前提のもとでその行動を分析します。消費者の行動を分析することで、消費者は価格がいくらであれば、どれくらいの量の製品を消費するのかという需要曲線を導くことができます。

これらの需要曲線、供給曲線を使うことで、完全競争市場において価格や製品の量がどのように決定されるのかということが説明できます。ただし、実際の経済では、様々な要因により完全競争市場が実現されない場合も多くあります。そのため、完全競争市場でない場合には、価格や生産量はどのように決定されるのかについても学びます。さらに、市場の動きに任せても最適な資源配分がなされない市場の失敗についても学びます。

#### マクロ経済学

マクロ経済学では、国全体の経済を分析します。国全体の経済では、財市場、貨幣市場、労働市場の3つがお互いに影響を与えながら、国民所得（GDP）が決まっていきます。

そのため、マクロ経済学の分野では、まずは国民所得とは何かということについて学び、財市場、貨幣市場それぞれの動きを学んだ後、財市場と貨幣市場を同時に分析するIS-LM分析について学びます。さらに、労働市場の動きと、財市場、貨幣市場に労働市場も考慮したAD-AS分析について学びます。また、国内だけでなく海外の影響も考慮したIS-LM-BP分析や、その他のマクロ経済学の諸理論についても学びます。

## 2. まとめシート

SHEET 0	最低限覚えてほしい経済学で使う数学	10
SHEET 1	費用関数と生産関数	16
SHEET 2	無差別曲線	22
SHEET 3	需要曲線と供給曲線	26
SHEET 4	スルツキー分解・期待効用仮説	30
SHEET 5	余剰分析	34
SHEET 6	独占・自然独占・寡占	38
SHEET 7	ゲーム理論・比較優位	42
SHEET 8	市場の失敗	46
SHEET 9	GDPと物価	50
SHEET 10	経済統計	56
SHEET 11	45度線分析・乗数理論	60
SHEET 12	貨幣供給と貨幣需要	64
SHEET 13	IS-LM分析	68
SHEET 14	AD-AS分析	74
SHEET 15	マンデル・フレミングモデル	78
SHEET 16	マクロ経済学の諸理論①	82
SHEET 17	マクロ経済学の諸理論②	86

# 0. 最低限覚えてほしい経済学で使う数学

## 【文字式】

**文字式**：具体的な数字でなくa,b,X,Yといった文字で表す  
→後でどんな数字が入ってきても使い回せるようにするため

分子  $\frac{a}{b}$  増えると大きくなる  
分母  $\frac{a}{b}$  増えると小さくなる

## 分数の文字式

プラスのとき

分子が増える：値が大きくなる 分母が増える：値が小さくなる

マイナスのとき（プラスと逆）

分子が増える：値が小さくなる 分母が増える：値が大きくなる

マイナス  $\frac{a}{b}$  増えると小さくなる  
 $\frac{a}{b}$  増えると大きくなる

分母が無限大 $\infty$ だと0、  
分母が0だと無限大になる

## 【1次関数とグラフ】

### 関数とは？

ある値を別の値に変換するためのルールを示したもの

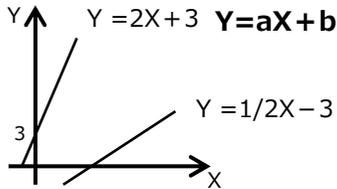
Xの関数ということを表すのに  $aX+b$  など

$Y(x) = (Xを使った式)$

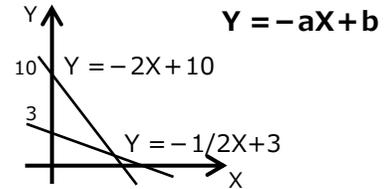
fやcなどの文字

と表す場合も

傾きがプラス(a)：右上がり



傾きがマイナス(-a)：右下がり



### 1次関数とは？

Xが変化するのに伴って下の「1次関数の式」のようにYが変化するというルール

aの絶対値が大きい：傾きが急  
aの絶対値が小さい：傾きが緩やか

bが小さい：切片が低い位置にある  
bが大きい：切片が高い位置にある

### 1次関数の式とグラフ

$$Y = aX + b$$

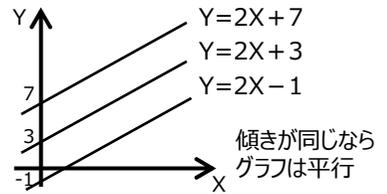
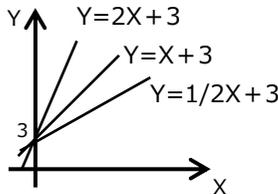
X, Y : 変数  
a, b : 定数

傾き

切片

傾きが0：グラフは水平

傾きが無限大 $\infty$ ：グラフは垂直



傾きが同じなら  
グラフは平行

### シフトと移動

#### シフト

グラフ自体が動く

→式が変化

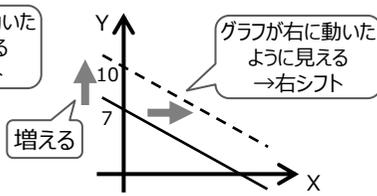
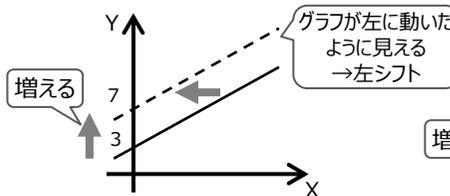
#### 移動

グラフの中を移動する

→式は変化しない

右上がりのグラフで  
切片の値が増える → 左にシフト  
切片の値が減る → 右にシフト

右下がりのグラフで  
切片の値が増える → 右にシフト  
切片の値が減る → 左にシフト



## 【グラフの接線と微分】

### 接線とは？

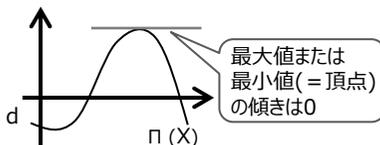
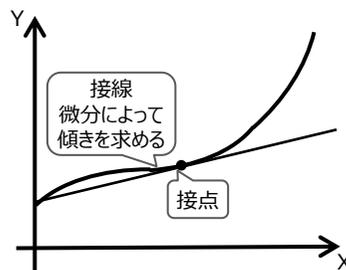
グラフ上のある点に接する直線のこと  
1次関数ではグラフと接線は一致

### 接線の傾き

Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかを示す

グラフの曲線を微分することで求める  
→経済学で限界○○というグラフの接線の傾きの度合いのこと

微分=0のとき、グラフの接線の傾きは0となり、最大値または最小値をとる



## 【これだけ覚える微分】

### 微分のルール

$$aX^n \xrightarrow{\text{微分}} anX^{n-1}$$

具体的には...

$$aX^3 \text{の微分} : 3aX^2$$

$$bX^2 \text{の微分} : 2bX$$

$$cX \text{の微分} : c$$

$$d \text{の微分} : 0$$

d : 定数

これだけ覚えてしまえばOK!

プライム

Xの関数Y(X)の微分はY'(X)と表す  
例：Y(X)=bX<sup>2</sup>のとき、Y'(X)=2bX

経済学では、多くの数式やグラフが出てきます。ただし、中小企業診断士試験の経済学の範囲では、それほど難解な数学の理論が必要となるわけではないため、元々理系の方など数学に苦手意識のない方は比較的スムーズに学習を進めることができるでしょう。

しかし、経済学が苦手でいくら勉強してもなかなか点数に結び付かないという方の中には、お話を伺っていると、実は経済学の前の段階の基本的な数学の理解が曖昧だったから、経済学の問題も上手く解けなかった、という方が一定数います。

そこで、以下ではシート0として、どれだけ数学が苦手でも、診断士試験の経済学の問題に対応する上で、最低限押さえておいてほしい基本的な数学について説明します。

数学というと「どうしても自分には無理」と思う方もいるかもしれません。しかし、数学だと思わず、経済学の問題を解くために必要なお作法だと思い、必要最低限の内容を押さえるようにしましょう。(逆に問題なく理解できる方は、本シートは読み飛ばしていただいて結構です。)

## 文字式

**文字式**とは、例えば $a+b=c$ といったように、式を具体的な数字でなく、 $a$ 、 $b$ 、 $X$ 、 $Y$ といった文字で表したものです。文字式は、文字の部分に後でどんな数字が入ってきても使い回せるようにするために使われます。また文字式の文字にはアルファベットの他に $\Pi$ や $\eta$ 、 $\varepsilon$ などのギリシャ文字が使われる場合もあります。

アルファベットで式が書いてあったり、さらにはそこにギリシャ文字が入ってきたりすると難しく見えますが、あくまでも「そこに〇〇を表す数字が入ります」ということを示しているだけで、過度に恐れる必要はありません。

分数の分子、分母もそれぞれ文字で表す場合があります。分数の文字式も文字の中に何らかの数字が入ると同じで、プラスのときは**分子が増えると値が大きくなり、分母が増えると値が小さくなります**。逆にマイナスのときはプラスと逆になります。

また、プラスマイナスどちらでも、**分母が無限大**まで大きくなると値はほぼ**0**となり、**分母が0**だと絶対値は**無限大**になります。(絶対値：数字から $+/-$ を除いたもの)

なかなかイメージしにくい場合は、例えば $a/b$ で $a=2$ 、 $b=3$ で $2/3$ だったのが、 $b$ が増え、 $b=4$ になるとどうなるか、というように自分で実際の数字を当てはめてみながら数字の大小の変化を確認してみましょう。

## 1次関数とグラフ

**関数**とは、ある値を別の値に変換するためのルールを示したものです。**1次関数**とは、Xが変化するのに伴って $Y=aX+b$ のようにYが変化するというルールのことです。このとき、いろいろな値に変化するX、Yを**変数**、変化しないa、bを**定数**といいます。Xの変化に伴って関数Yが変化することを、「YはXの関数」や「Xの関数Y」と表現する場合があります。また、式YがXの関数であることを表すために、 $Y(X)=aX+b$ といったような形で表す場合もあります。

このa、b、X、Yが例えば $i=\frac{k}{h}Y-\frac{M}{hP}$ というように別の文字や複数の文字で表されたりしても、考え方は同じです。LM曲線の式 $i=\frac{k}{h}Y-\frac{M}{hP}$ であれば、 $Y=aX+b$ の式のYがi、XがY、aがk/h、bが $-M/hP$ になった、といったように見せ方が変わっただけです。最初はまず、 $Y=aX+b$ という一番単純な1次関数の形を覚えて、a、b、X、Yがどのような文字に変わったのか、ということを経済学で使われる公式と比較しながら一つ一つチェックして徐々に慣れていくようにしましょう。

そして、経済学の問題を解く上で非常に重要となってくるのが、1次関数の式とグラフの関係です。1次関数 $Y=aX+b$ の式では、aを**傾き**、bを**切片**と呼びます。

グラフとは、Xがある値のときYはどういう値になるのかということを図に示したもので、1次関数のグラフは直線で表すことができ、傾きがプラスであれば右上がりの、傾きがマイナスであれば右下がりの直線となります。また傾きが**0**のときはX軸に対して**水平**の、傾きがX軸に対して**無限大**( $\infty$ )のときは**垂直**の直線となります。

### 1次関数の式とグラフ

例えば $Y=2X+3$ や $Y=1/2X-3$ のグラフは、傾き、つまり $Y=aX+b$ の式のaの部分が2、1/2とプラスですので右上がりの直線に、 $Y=-2X+10$ や $Y=-1/2X+3$ のグラフは傾きが-2、-1/2とマイナスですので右下がりの直線になります。

さらに、ある値において土を除いた数字の部分を**絶対値**といいます(例：2の絶対値は2、-2の絶対値も2)、**傾き**の度合いはaの絶対値の大きさに左右されます。図0-1のようにaの絶対値が大きければ傾きが**急**に、aの絶対値が小さければ傾きが**緩やか**になります。

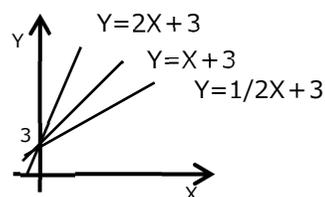


図0-1 絶対値の大きさと傾き

また、 $Y=aX+b$ の式のbの部分である切片とは、 $X=0$ のときのYの値のことで、図0-2のようにbの値が小さければ切片は低い位置にあり、bの値が大きければ切片は高い位置にあります。なお、傾きが同じ式の場合は、グラフは平行になります。

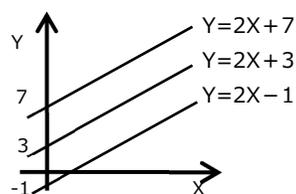


図0-2 切片の大きさと位置

## シフトと移動

右上がりのグラフでは、切片の値が増えた場合、グラフは上に移動しますが、同時に左に動いたようにも見えます。そのため、切片の値が増えグラフが上（見た目は左に）に移動することを「グラフが左にシフトする」といいます。逆に切片の値が減った場合、グラフは下に移動し、同時に右に動いたように見えますので、「グラフは右にシフトする」といいます。逆に右下がりのグラフの場合は切片の値が増えるとグラフは右にシフトし、切片の値が減るとグラフは左にシフトします。これは実際に自分で何度か書いてみるとすぐ理解できるでしょう。（図0-3を参照）

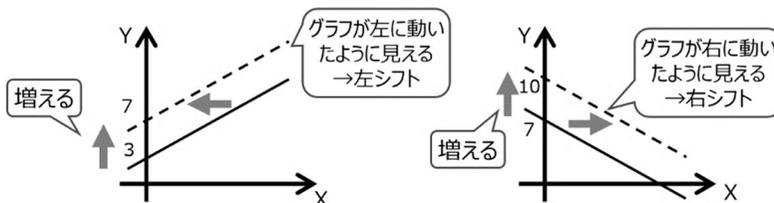


図0-3 右シフトと左シフト

以上を整理しますと、「 $Y=aX+b$ の式で、 $a$ が変化するとグラフの傾きが変化し、 $b$ が変化するとグラフが右または左にシフトする」といえます。

なお、1次関数のグラフは、 $Y=aX+b$ の式で $X$ がある値のとき $Y$ はどのような値になるのかということを図に示したものですので、 $a$ 、 $b$ の値が変化せず $X$ または $Y$ の値が変化した場合は、グラフの形は変化することなく、 $Y=aX+b$ の式を表したグラフの直線上のある点からある点に点が移動したという形になります。

以下にごく基本的な練習問題を掲載しましたが、練習問題を解いてみてやっぱりイマイチわからない、という場合は、自分で何度か1次関数の式からグラフを作ってみてグラフと式の間について理解を深めるようにしましょう。

### 練習問題

- ①  $Y=2/3X-1$ のグラフは右下がりですか？右上がりですか？
- ②  $Y=1/2X-1$ と $Y=3X-1$ のグラフではどちらのグラフの傾きが急ですか？
- ③  $Y=-X-1$ の切片が3になったらグラフは右、左どちらにシフトしますか？
- ④  $X=(1-a)/b$ のとき、 $a$ の値が大きくなったら $X$ の値は大きくなりますか？小さくなりますか？（ $a, b$ は正の値）
- ⑤  $X=-cd/e$ のとき $e$ が大きくなったら $X$ の値は大きくなりますか？小さくなりますか？（ $c, d, e$ は正の値）
- ⑥ IS曲線の式は $Y$ の関数 $i$ を  $i = -\frac{1-c}{b}Y + \frac{-cT+C_0+I_0+G}{b}$  と表します。左式の中で $c$ が小さくなったらグラフはどう変化しますか？（ $c, b, T, C_0, I_0, G$ は正の値、 $b, c < 1$ ）
- ⑦ LM曲線の式は $Y$ の関数 $i$ を  $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$  と表します。左式の中で $h$ が大きくなったらグラフはどう変化しますか？（ $k, h, M, P$ は正の値）

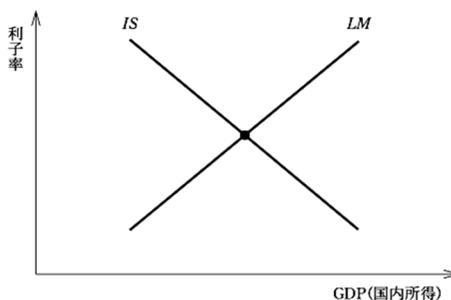
答え ①右上がり、② $Y=3X-1$ 、③右、④小さくなる、⑤大きくなる、⑥傾きが急になり、グラフは右にシフトする、⑦傾きが緩やかになり、グラフは左にシフトする

また、以上のことがわかっているならば、下記のようなIS-LM分析の問題は数式の処理の問題として解けるはずです。

H19 第5問

下図はIS曲線とLM曲線を描いたものである。それぞれの説明として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 貨幣供給の減少はLM曲線を右方にシフトさせる。
- b 貨幣需要の利子弾力性が大きいほど、LM曲線は、より急な形状で描かれる。
- c 限界消費性向の値が大きいほど、IS曲線は、より急な形状で描かれる。
- d 政府支出の増加はIS曲線を右方にシフトさせる。
- e 投資の利子弾力性が小さいほど、IS曲線は、より急な形状で描かれる。



【解答群】

ア aとb    イ aとc    ウ bとe    エ cとd    オ dとe

詳しくは「14. IS-LM分析」シートで説明しますが、IS曲線、LM曲線は、以下のような式で、利子率を $i$ 、GDPを $Y$ と置くと、以下の式で表せます。

IS曲線  $i = -\frac{1-c}{b}Y + \frac{-cT+C_0+I_0+G}{b}$     b : 投資の利子率弾力性    h : 貨幣需要の利子率弾力性

LM曲線  $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$     c : 限界消費性向( $0 < c < 1$ )    G : 政府支出    M : 貨幣供給

この場合、説明a~eは以下のように読みかえることができます。

このように読みかえれば、式とグラフの変化から○×が判断できます。

- a LM曲線の式でMが小さくなるとグラフは右にシフトするか？ 解答：×
- b LM曲線の式でhが大きくなるとグラフの傾きは急になるか？ 解答：×
- c IS曲線の式でcが大きくなるとグラフの傾きは急になるか？ 解答：×
- d IS曲線の式でGが大きくなるとグラフは右にシフトするか？ 解答：○
- e IS曲線の式でbが小さくなるとグラフの傾きは急になるか？ 解答：○

以上から、dとeが○なので正解はオとなります。

他にも式の傾きと切片の考え方を理解しているだけで解ける問題や、選択肢が絞れる問題は多くありますので、1次関数の式とグラフの関係はしっかり押さえておきましょう。

## グラフの接線と微分

ここまで、直線で表すことのできる1次関数について取り上げてきましたが、ミクロ経済の分野では曲線で表される関数も出てきます。そのとき理解しておきたいのがグラフの接線とその傾きについてです。

接線とは、図0-4のようにグラフ上のある点に接する直線のことをいいます。

また、グラフ上のある点の接線の傾きとは、その接点で、Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかを示しています。そして、接線の傾きはグラフの曲線を微分することで求めることができます。

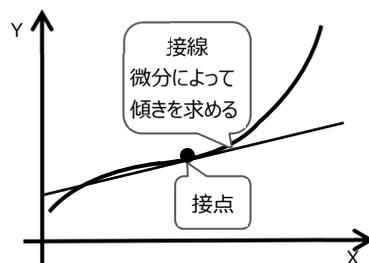


図0-4 グラフの接線とその傾き

なお、経済学で限界〇〇という用語が出てきた場合、ある点において、Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかということを示したもので、つまり、グラフの接線の傾きの度合いのことを意味しています。また、微分=0となる点は、グラフ上では傾きが0となり、傾きが0となる点は最大値または最小値をとります。(※注)

ちなみに、グラフの形と呼び方についてですが、グラフの見た目上、直線で示されるものも「曲線」と呼ぶ場合がありますので、注意するようにしましょう。

(※注) 厳密にはそうでない場合もありますが、少なくとも診断士試験の場合は傾き=0の点は最大値または最小値、と覚えておいて問題ありません。

## これだけ覚える微分

さて、グラフの接線の傾きを求めるためには微分が必要と説明しましたが、診断士試験に必要な微分は $aX^n$ の微分のみです。

$aX^3$ 、 $bX^2$ 、 $cX$ といった $aX^n$ の微分は右記のように $anX^{n-1}$ と表すことができます。つまり、 $aX^3$ の微分は $n=3$ を $anX^{n-1}$ にあてはめて、 $a \times 3X^{3-1} = 3aX^2$ となります。ちなみに定数 $d$ の場合は0となりますが、 $d \times X^0$ なので、 $d \times 0X^{0-1} = 0$ となると考えると良いでしょう。

$$aX^n \xrightarrow{\text{微分}} anX^{n-1}$$

$ax^3$ の微分： $3ax^2$
$bx^2$ の微分： $2bx$
$cx$ の微分： $c$
$d$ の微分： $0$

図0-5 微分の説明

数学は苦手という方は、診断士試験で使われる微分は3次関数の微分までですので、細かいことは深く考えず、右の枠で囲われた部分を覚えてしまい「微分をする」となったら、式の中のそれぞれの文字を覚えた通り置き換えてしまえばOKです。あくまでも問題を解くためのお作法と割り切ってしまうましょう。

なお、Xの関数 $Y(X)$ の微分を表す際は「'」（プライム）という記号が使われる場合もあります。このとき、Yの微分は $Y'(X)$ という形で表します。(例： $Y(X) = bX^2$ のとき、 $Y'(X) = 2bX$ )

## 第3章 経営法務

### 1. 経営法務の概要

経営法務では、中小企業診断士が中小企業の経営者や中小企業を立ち上げようとしている人に助言を行う際に身に付けておく必要のある、企業経営に関する法律や制度、手続きなどに関する知識が求められます。

具体的な出題範囲としては、大きく分けて会社法、知的財産関連、民法その他の3つの分野から出題されます。

会社法とは、文字通り会社を対象とした法律で、会社の設立や機関設計、株式・社債などの資金調達、組織再編など、会社に関連した内容について学びます。

知的財産関連では、特許権、実用新案権、意匠権、商標権といった産業財産権や著作権などについて学びます。

民法その他では、民法で規定されている権利や、契約、相続について学びます。また、民法以外にも国際取引に関するルール、その他中小企業診断士試験で問われる可能性のある法律についても掲載しています。

経営法務で学習する上記の分野のうちでも、会社法と知的財産関連の分野は出題比率が高く、問われる論点もある程度限られていますので、まずはこの2つの論点を押さえ、民法その他は後回しにして学習すると効率的です。

なお、平成19年から令和4年までの試験の平均科目合格率を比較すると、経営法務は科目合格率が7科目の中で最も低く、10%を下回る年も多くありました。平成30年度試験では、あまりにも試験問題が難しく、8点もの得点調整が行われたこともありました。

そのため「もっと広い範囲を勉強しないとまずいのではないか」と考え、他資格などに勉強の範囲を広げる方もいますが、あくまでも診断士試験に合格するという観点から見れば、それらの試験は診断士試験と重複しない試験範囲も含まれているため、非効率です。それよりは、各種予備校が実施する模擬試験の問題を模試というよりは練習問題の代わりとして活用した方が効率的でしょう。

なお、このテキストは試験対策上必要な知識をできるだけざっくりとかみ砕いて説明することを目的としていますので、法律上厳密には正しくない表現が含まれている可能性があります。そのため、あくまでも試験対策上の解説であるという点を留意して利用いただければと思います。

## 2. まとめシート

SHEET 1	法律の前提知識	92
SHEET 2	会社設立	96
SHEET 3	株式会社の機関設計	100
SHEET 4	株式会社の機関の詳細①	106
SHEET 5	株式会社の機関の詳細②	110
SHEET 6	資金調達	114
SHEET 7	組織再編	120
SHEET 8	持分会社と組合・株式市場	126
SHEET 9	倒産	130
SHEET 10	産業財産権①	134
SHEET 11	産業財産権②	140
SHEET 12	産業財産権③	146
SHEET 13	著作権	150
SHEET 14	不正競争防止法、独占禁止法	154
SHEET 15	民法総則	158
SHEET 16	債権と物権	162
SHEET 17	契約	166
SHEET 18	相続	170
SHEET 19	国際取引など	174
SHEET 20	その他いろいろ	178

## 2. 会社設立

### 【会社設立時の流れ】



### 【定款】 会社の憲法みたいなもの

原始定款  電子化可能  現行定款

会社設立時に作成され、公証人によって認証された定款  
現時点で効力を持っている定款  
変更には株主総会の特別決議が必要

### 絶対的記載事項 ないと定款全体が無効

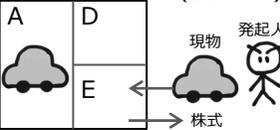
- 1) 目的：会社の事業内容
- 2) 商号
- 3) 本店の所在地  同一商号かつ、同一住所は×
- 4) 設立に際して出資される財産の価額またはその最低額
- 5) 発起人の氏名または名称および住所
- 6) 発行可能株式総数

### 変態設立事項

ヘンタイは株主に危害を及ぼすかもしれないのでチェックが必要

- 1) 現物出資の価額など
- 2) 財産引受の価額など
- 3) 発起人が受ける報酬・特別利益など
- 4) 設立費用

現物出資 ← 発起人のみ (複数人可)



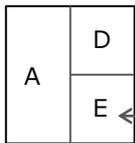
裁判所に検査役選任の申立てが必要

### 検査役選任の申立てが不要な場合

現物出資or財産引受のとき

- 1) 総額が500万円以下のとき  安いからいいや
- 2) 市場価格のある有価証券  わかるからいいよ
- 3) 弁護士or公認会計士or税理士 (不動産のときは↑の人+不動産鑑定士)  ちゃんとした人が証明したならいいよの証明を受けたとき

### 【出資】



#### 発起設立

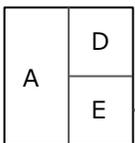
発起人：株主

出資  複数人でもOK

銀行などが確かに支払われたことを証明

払込金保管証明書

不要 自分のお金だから



#### 募集設立

株主

創立総会

出資  要

払込金保管証明書

要 みんなのお金だから

※ 発起設立でも募集設立でも発起人は1株以上引き受ける

### 出資者の責任

無限責任  上限なし

→会社が倒産したら個人の財産まで取られる

有限責任  上限あり

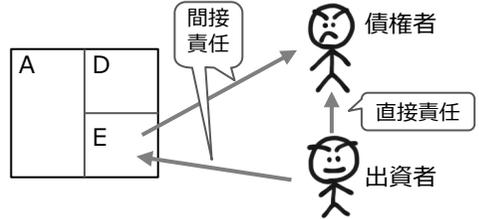
→出資した分だけ取られる

### 直接責任

→弁済義務を直接負う

### 間接責任

→会社に出資する形で弁済義務を負う



### 【設立登記】

登記しないといけない主要内容

- 1) 商号、本店 & 支店の所在地、目的、資本金の額
- 2) 発行可能株式総数、発行済株式総数、発行する株式の内容
- 3) 代表取締役/代表執行役：氏名 + 住所
- 4) 取締役：氏名  社外であればその旨も
- 5) 公告方法
- 6) 株式会社の機関設計
  - ✓ 取締役会設置会社であるときは、その旨
  - ✓ 監査役設置会社/監査役会設置会社であるときは、その旨 + 監査役の氏名など
  - ✓ 会計監査人設置会社であるときは、その旨 + 会計監査人の氏名/名称
  - ✓ 会計参与設置会社であるときは、その旨 + 会計参与の氏名/名称 + 計算書類の備置場所

### 【届出】

#### 事業開始のとき

	何を	いつまでに	どこに
個人事業主	開業届	1か月以内	税務署
法人	法人設立届出書	2か月以内	

#### 従業員を雇用したとき

	何を	いつまでに	どこに
労働保険	共通 (1人でも)	保険関係成立届	10日以内 労基署 職安
	社会保険	個人事業主 (5人~)	新規適用届
法人 (1人~)			



## 会社設立時の流れ

このシートからは会社法に関連した内容について説明します。**会社法**は、会社の設立・解散、株式・社債などの資金調達、会社の機関設計、企業再編など文字通り会社に関する様々なルールを定めた法律です。会社法は、経営法務では毎年必ず出題される分野ですので、確実に押さえて得点につなげられるようにしましょう。

本シートでは、まずは会社の設立方法について説明します。

会社設立は、まず会社の憲法のようなものである**定款**を作成し、会社を運営していく上で必要となる資金の**出資**を募ります。そして、取締役などの機関を選定して設置し、**登記**することで設立されます。会社が設立された後は、必要な各種の届出を行います。

## 定款

**定款**とは、会社の憲法のようなもので、その会社に関する基本的な内容を定めたものです。会社の設立のためには、まず定款の作成が必要となり、**発起人**によって作成された定款は**公証人**によって**認証**されることで効力を発揮します。会社設立時に作成され公証人によって認証された定款を**原始定款**といい、電子化が可能です。一方で会社設立後、内容などの変更がなされ、現時点で効力を持っている定款を**現行定款**といいます。現行定款の変更には株主総会の特別決議が必要です。

定款に記載する内容には、それが書いていないと定款全体が無効になってしまう**絶対的記載事項**と、定款に書かないと効力を発揮させることができない**相対的記載事項**、任意の項目である**任意記載事項**に分類することができます。

絶対的記載事項に記載しなければいけない内容は以下の6項目です。

- 1) **会社の目的**：会社の事業内容を記載します。
- 2) **商号**：会社の名前を記載します。
- 3) **本店の所在地**：本店の住所を記載します。同じ商号の会社を同じ住所に設立することはできません。
- 4) 設立に際して出資される財産の価額またはその最低額
- 5) **発起人の氏名**または**名称**および**住所**
- 6) 発行可能株式総数

なお、上記の1)～5)は公証人の定款認証時に必ず記載が必要で、6)は会社の成立時まで定款に定める必要があります。

また、**相対的記載事項**のうち現物出資や財産引受けなどの、会社の設立に伴い発起人の権限の濫用が生じやすく特に厳重なチェックが必要となる項目に関しては、**変態設立事項**として定款に記

載することが求められています。変態設立事項として定款に記載しなければいけない項目は次の4項目です。

- 1) **現物出資**の価額など：発起人（複数人も可能）のみ現物出資可能で、現物出資する者の氏名または名称、当該財産およびその価額ならびに割り当てる株式について記載が必要です。
- 2) **財産引受**の価額など：発起人が会社のため会社の成立を条件として財産を譲り受ける契約をした場合、その財産と価額、譲渡人（発起人以外も可能）の氏名または名称について記載が必要となります。
- 3) 発起人が受ける報酬・特別利益など：発起人が利益を取り過ぎてしまうことを防ぐため、会社設立のために発起人が働いた分の報酬やその他利益を受ける場合は記載が求められます。
- 4) 設立費用：会社設立のために発起人が支払った費用について記載しておけば、発起人が成立後の会社に対して請求できます。

なお、変態設立事項がある場合、それらが適切であるかどうかをチェックするため、**検査役**による調査が必要となり、裁判所に検査役選任の申立てをする必要があります。ただし、現物出資もしくは財産引受の場合で下に該当する場合は検査役の検査が不要となります。

- 1) 対象財産の総額が**500万円以下**のとき：少額なので不要です。
- 2) **対象財産が市場価格のある有価証券**のとき：市場の価格がわかるため確認は不要です。
- 3) **弁護士**または**公認会計士**または**税理士**（不動産のときはこれらに加えて**不動産鑑定士**）の証明を受けたとき：きちんとした人が正当だと評価しているため確認は不要です。

## 出資

---

会社の設立方法には、**発起設立**と**募集設立**という2つの方法があります。

**発起設立**は、発起人＝株主となる場合で発起人は複数でも可能ですが、発起人は最低でも1株は引き受ける必要があります。発起設立の場合、発起人が株主なので、出資されたお金が確実に振り込まれたということを証明する**払込金保管証明書**は不要となります。

**募集設立**は、会社の設立にあたり、発起人以外の者からも出資を募るものです。ただし、募集設立においても発起人は必ず1株以上の株式を引き受ける必要があります。募集設立の場合、発起人以外のお金も預かることになるため、出資されたお金が確実に振り込まれたということを証明するために、払込金保管証明書が必要となります。

また、出資に際し、出資者の責任のタイプとしては、会社の債権者に対する責任をどこまで負うかという観点から**無限責任**と**有限責任**に、会社の債権者に対して直接弁済義務を負うかという観点から**直接責任**と**間接責任**に分類できます。

**無限責任**は、会社が倒産したときなどに、銀行などの債権者に対し個人の財産まで含めて上限なく責任を負う形式です。それに対し**有限責任**は、会社が倒産した場合などに、出資した額を限度として責任を負う形式です。また、**直接責任**は出資者が債権者に対して直接弁済する義務を負っている

場合のことで、**間接責任**は、債権者に対する弁済義務は会社が負い、出資者は会社に出資をする形で間接的に弁済義務を負っている場合のことをいいます。

## 設立登記

設立登記にあたっては、主に以下の内容を登記する必要があります。

### 1) 商号、本店 & 支店の所在地、目的、資本金の額

✓ 定款は本店の所在地だけでしたが、登記では支店の所在地も必要となります。

### 2) 発行可能株式総数、発行済株式総数、発行する株式の内容

✓ 発行する株式の内容は、譲渡制限株式など、普通株式ではない形式を採っている場合その内容も登記する必要があります。

### 3) 代表取締役/代表執行役の氏名と住所

### 4) 取締役の氏名

✓ 社外であればその旨も示します。

### 5) 公告方法

✓ 特に定款で決めていないときは、官報に掲載する公告方法となります。

### 6) 株式会社の機関設計

✓ 取締役会設置会社であるときはその旨を示します。

✓ 監査役設置会社、監査役会設置会社のいずれかであるときはその旨と監査役の氏名などを示します。

✓ 会計監査人設置会社のときはその旨と会計監査人の氏名または名称を示します。

✓ 会計参与設置会社のときはその旨と会計参与の氏名または名称、計算書類の備置場所を示します。

## 届出

事業を開始したときは、個人事業主の場合は**開業届**を**1か月以内**に、法人の場合は**法人設立届出書**を**2か月以内**に**税務署**に提出する必要があります。

また、従業員を雇用したときは、労働保険、社会保険の手続きが必要となります。労働保険については、個人事業主も法人も1人でも従業員を雇用した場合、**保険関係成立届**を**10日以内**に**労働基準監督署**（労基署）や**公共職業安定所**（職安）に提出する必要があります。社会保険については、個人事業主の場合は5人以上を雇用した場合、法人の場合1人以上を雇用した場合、**新規適用届**を**5日以内**に**年金事務所**に提出する必要があります。

— **すぐやる！過去問コーナー** —

会社設立

レベル 1 R4-6(2)

レベル 2 R2-2



## 第4章 経営情報システム

### 1. 経営情報システムの概要

経営情報システムの科目の出題分野は、大きく分けて情報通信技術の基礎的知識と経営・管理に関連した情報技術の2つの分野に分けられます。

情報通信技術の基礎的知識では、ハードウェア、ソフトウェア、プログラム言語、データベース、ネットワーク、インターネット、システム構成技術、セキュリティといった情報通信技術を支えている技術についての基本的な内容が問われます。また、経営・管理に関連した情報技術では、開発方法論、経営情報管理、ガイドライン、統計解析といった内容が問われます。

中小企業診断士試験では、例年、この2つの分野のうち、前者の情報通信技術の基礎的知識に関する問題は比較的点数が取りやすく、経営・管理に関連した情報技術に関する問題は比較的点数が取りにくくなっています。特にガイドライン、統計解析は範囲が非常に広いうえ、例年難易度の高い問題が出題されるため、かけた学習時間に対する効果が非常に低い分野です。

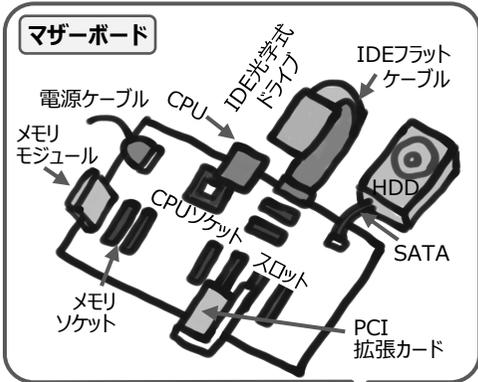
そのため、本書でも、比較的点数の取りやすい情報通信技術に関する基礎的知識の分野に重点を置き、経営情報管理は開発方法論、経営情報管理のよく問われる部分を中心に扱い、ガイドライン、統計解析はあえて掲載しませんでした。それは、試験合格というゴールを考えると、これらの勉強をするのであれば、その時間を別の論点や別の科目の勉強に充てた方がより効果的だからです。著者もこれらの論点については過去問を簡単に見た程度で、ほとんど対策をしませんでしたが、本試験では、経営情報システムは88点を取ることができました。

なお、経営情報システムでは、日常生活で情報技術に接している人であればサービス問題であるものの、そうでない人にとってはテキストで取り上げておらず学んでいないのでわからない、といった問題が出題される場合があります。そのため、テキストや過去問以外でも、最近話題になっている情報技術については、負担にならない程度で、日常生活のなかで少し興味を持って触れてみるのも試験対策になるでしょう。

## 2. まとめシート

SHEET 1	コンピュータの5大装置	184
SHEET 2	記憶装置	188
SHEET 3	ソフトウェア	192
SHEET 4	プログラム	196
SHEET 5	ファイル・データ分析	200
SHEET 6	データベース	204
SHEET 7	データベース操作、モバイル端末の利用	208
SHEET 8	ネットワーク	212
SHEET 9	インターネット	216
SHEET 10	TCP/IPとプロトコル	220
SHEET 11	システム構成技術	224
SHEET 12	セキュリティ	230
SHEET 13	ソフトウェア開発	236
SHEET 14	アジャイル開発・テスト	240
SHEET 15	開発管理	244
SHEET 16	経営情報管理	248
SHEET 17	Web利用、その他IT関連用語	254

# 1. コンピュータの5大装置



**CPU**

制御装置と演算装置の2つの役割  
複雑な計算の処理が得意

**GPU**：画像処理装置  
単純な計算の大量の処理が得意  
ゲーミングにも使われる

**処理能力の示し方**

**MIPS**  
1秒間に何百万回実行できるか

**FLOPS**  
1秒間に何回浮動小数点演算ができるか

**CPI**  
1命令の実行に必要なクロック数

**クロック周波数**  
CPUが作動するリズム、動作する速度

**処理の高速化**

**パイプライン制御**

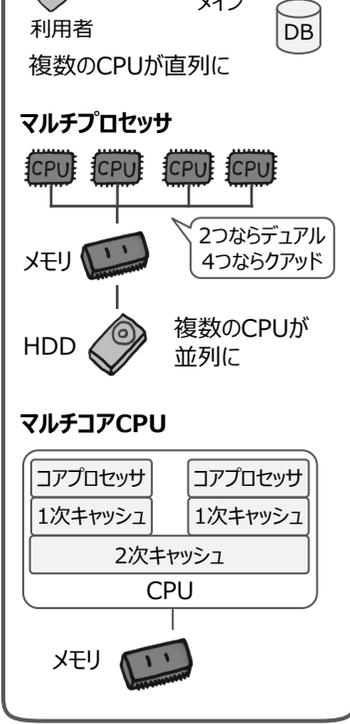
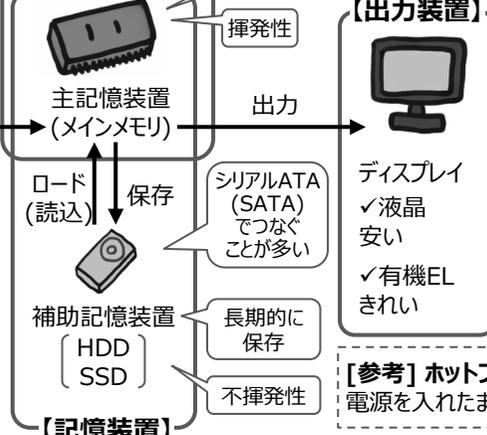
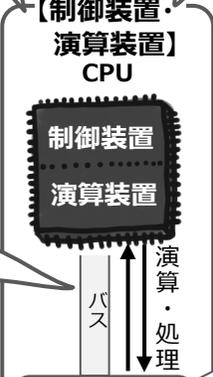
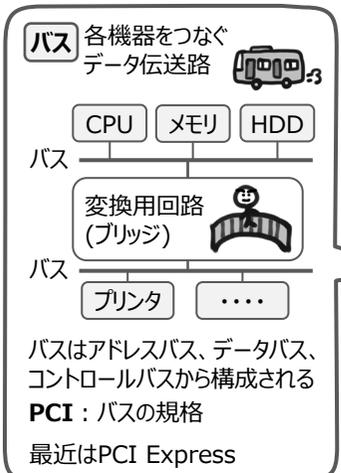
命令1 ① ② ③ ④  
命令2 ① ② ③ ④  
命令3 ① ② ③ ④

命令を並行処理してスピード↑

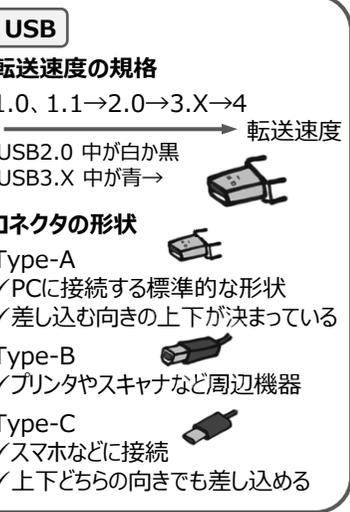
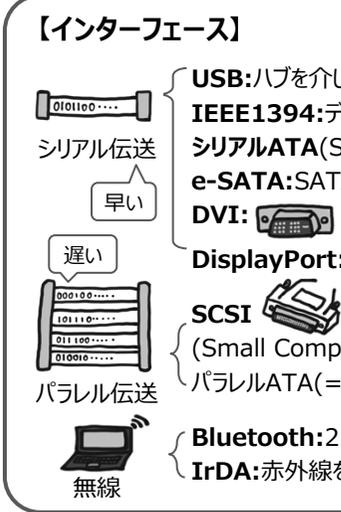
**タンデムシステム**

通信担当 CPU → CPU → CPU → DB処理  
利用者 DB

複数のCPUが直列に



**【参考】ホットプラグ**  
電源を入れたまま周辺機器の着脱ができる機能





## コンピュータの5大装置

コンピュータは入力装置により命令やデータが入力され、記憶装置（補助記憶装置）に保存されているデータを主記憶装置にロードし、読み込んだデータを演算装置で演算、制御装置で制御し、出力装置で人が認識できるような形で示し、処理結果を記憶装置に保存します。ここで用いられる入力装置、記憶装置、演算装置、制御装置、出力装置の5つをコンピュータの5大装置といいます。

### 入力装置・出力装置

入力装置はコンピュータへの命令やデータを入力する装置です。代表的なものにキーボードやマウス、タッチパッドがあり、入力装置と出力装置が一体となったタッチパネルや、音声による入出力が可能なスマートスピーカ（AIスピーカ）などもあります。タッチパネルの入力方式には、ニンテンドーDSなどで使われている表面のフィルムとガラス面の間にある電極の電圧の変化で位置を検知する抵抗膜方式と、スマホなどで使われている画面を指で触れたときに生じる微弱な電流変化を検知する静電容量方式があります。抵抗膜方式は安価で手袋をしたままでも使えますが、耐衝撃性や耐久性が低いです。基本的に画面に触れている1点しか検知できず、画面を2本の指の間を広げて拡大するピンチアウトや、つまむようにして縮小するピンチインのような操作は行えません。静電容量方式は比較的高価ですが、耐衝撃性や耐久性が高く、複数の点が検知可能です。

出力装置は、コンピュータが処理した情報を人が認識できる形で示す装置で、ディスプレイやプリンタ、音声応答装置などがあります。ディスプレイには、比較的低価な液晶ディスプレイや視認性の高い有機ELディスプレイなどの装置があります。

### 記憶装置

記憶装置には、演算装置とデータをやり取りする際に用いられる揮発性の主記憶装置（メインメモリ）と、データを長期的に保存するために用いられるHDD（Hard Disk Drive）やSSD（Solid State Drive）などの不揮発性の補助記憶装置があります。揮発性とは電源を切るとデータが消えてしまう性質のことで、不揮発性とは電源を切ってもデータが保存される性質のことです。

### 制御装置・演算装置

#### CPU

コンピュータの本体にあるCPU（Central Processing Unit）は制御装置と演算装置の2つの役割を持ち、主記憶装置から読み込んだデータの演算を行うとともに入力・出力・演算・記憶の制御を行います。

CPUはパソコン本体のマザーボードに他の記憶装置などと合わせて装着されています。CPUやメモリなどの各種パーツを装着するための受入口をソケットまたはスロットといいます。

なお、CPUに似た用語として、GPU (Graphics Processing Unit) があります。GPUはCPUと同じ計算処理を行う半導体チップですが、CPUは演算機的设计が複雑なのに対し、GPUは演算機的设计が単純で計算を大量に並列で処理することが得意で、主に画像処理に用いられます。近年は、その特性を活かし、ディープラーニングにも活用されています。

CPUの処理能力の表し方には、MIPS、FLOPS、クロック周波数、CPIなどがあります。

MIPS (Million Instructions Per Second) は、1秒間に何百万回の指示が実行可能かを表します。

また、FLOPS (Floating-point Operations Per Second) は、1秒間に何回浮動小数点演算が可能かを表します。クロック周波数は、CPUが作動するリズムのようなイメージです。回路が処理の歩調をあわせるために用いる、クロックと呼ばれる信号が1秒間に何回発生するか (動作周波数) を示し、Hz (ヘルツ) という単位で表します。CPI (Cycles Per Instruction) は、1命令を実行するのに必要なクロック数を表します。演算装置のMIPS、FLOPS、クロック周波数は値が大きいのほど処理性能が高く、CPIは値が小さいほど処理性能が高くなります。

## 処理の高速化

---

コンピュータの処理を高速化する方法には、パイプライン制御、タンデムシステム、マルチプロセッサ、マルチコアCPUなどの方法があります。

パイプライン制御は、複数の命令を並行処理することで、処理のスピードを上げる方法です。

タンデムシステムとは、通信を担当するCPU、メインのCPU、データベース処理を担当するCPUといったように複数のシステムを直列につなぎ、処理速度を上げるための仕組みです。それに対し、マルチプロセッサは複数のCPU、つまりプロセッサを並列につなぎ、処理速度を上げるための仕組みです。CPUが2つならデュアルプロセッサ、4つならクアッドプロセッサといいます。

マルチコアCPUは、1つのCPUの中に複数のコアプロセッサを搭載しCPUの処理速度を上げるための仕組みです。コアプロセッサが2つならデュアルコア、4つならクアッドコアといいます。

## 装置間の接続

---

### バス

---

コンピュータ内部の各機器をつなぎ、データをやり取りするためのデータ伝送路のことをバスといいます。1つのバスはアドレスバス、データバス、コントロールバスから構成されて、接続する対象によって、メモリバス、入出力バス、システムバスなど様々なバスがあります。規格や速度が異なるバスはブリッジという変換用の回路を通して変換、接続されます。バスの代表的な規格にはPCI (Peripheral Component Interconnect) や、その後継規格であるPCI Expressがあります。

## インターフェース

コンピュータと周辺機器を接続するための規格や仕様のことを**インターフェース**といいます。インターフェースには1本の線を使い信号を直列に送る**シリアル伝送**、複数の線を使い信号を並列に送る**パラレル伝送**、無線通信によるものがあります。パラレル伝送は多くのデータを一度に送ることができますが、送られたデータの同期を取る際の制約から高速化が困難なため、現在ではシリアル伝送の方が高速となり、その結果、シリアル伝送が主力となりつつあります。

**シリアル伝送**のインターフェースには、**USBハブ**を介して最大127台まで接続可能な**USB** (Universal Serial Bus)、デジタルビデオカメラなどAV機器の接続に使われ、最大63台まで接続可能な**IEEE1394**、内蔵ハードディスクの接続などに用いられ1台のみ接続可能な**シリアルATA** (AT Attachment) とその発展形で外付けハードディスクなどの接続に用いられる**e-SATA**、パソコンと液晶ディスプレイやプロジェクタなどを接続する際に用いられる**DVI** (Digital Visual Interface) や**HDMI** (High-Definition Multimedia Interface)、ディスプレイの接続などに用いられ複数のディスプレイを直列に接続 (**デイジーチェーン接続**) できる**Display Port**などがあります。

**パラレル伝送**のインターフェースには、ハードディスクなどの接続に使われ、最大7台または15台接続可能な**SCSI** (Small Computer System Interface)、内蔵ハードディスクなどの接続に使われ、最大2台接続可能な**パラレルATA** (**IDE** : Integrated Drive Electronicsともいう)、プリンタなどの接続に使われる**セントロニクス** (**IEEE1284**ともいう) などがあります。

無線通信のインターフェースには、2.4GHz帯の電波を利用し、マウスやキーボードなどのワイヤレス接続に使われる**Bluetooth**や、赤外線を利用する**IrDA**などがあります。ちなみに、2.4GHz帯の電波はWi-Fiや電子レンジなどの家電でも使われており、電波干渉が起きる場合があります。

なお、USBには、転送速度の規格があり、規格によってデータ転送速度が異なります。規格には、USB 1.0、USB 1.1、USB 2.0、USB 3.X(USB3.0、USB3.1、USB3.2など)、USB4があり、数字が大きくなるほど転送速度が上がるなど、性能が上がっています。なお、USB3.0以降はコネクタの内部が基本的に青くなっており、USB2.0以前のものとは見分けることができます。

USBのコネクタは、接続する機器に応じて複数の種類があり、主なものにUSB Type-A、B、Cがあります。**USB Type-A**は「USB」と聞いて多くの人が思い浮かべるような標準的なコネクタです。ほとんどのパソコンには、このUSBコネクタを接続できるポートが搭載されています。USB Type-Aは差し込む向きが上下が決まっています。**USB Type-B**はスキャナーやプリンタなど、パソコンの周辺機器でよく使われているUSBコネクタです。**USB Type-C**は比較的新しいUSBコネクタで、MacBookや一部のノートパソコン、Androidスマートフォン・タブレットなどで採用されています。差し込む向きが上下の区別がなく、どちらからでも差し込める点が特徴です。

なお、電源を入れたまま周辺機器の着脱ができる機能のことを**ホットプラグ**といいます。

### すぐやる！過去問コーナー

#### コンピュータの5大装置

レベル1 R3-1, R2-1, R1-1, H30-1, H29-2, H28-1, H26-2

レベル2 R4-1, H29-1, H29-3, H27-1, H25-1



## 第5章 中小企業経営・中小企業政策

### 1. 中小企業経営・中小企業政策の概要

中小企業経営・中小企業政策は科目名の通り、中小企業経営と中小企業政策の2つの分野から成る科目です。中小企業経営・中小企業政策では、例年42問出題され、前半の21問が中小企業経営、後半の21問が中小企業政策から出題されます。

中小企業経営の分野では、2022年度版中小企業白書から、中小企業の動向などに関する問題が出題されます。また、数問程度は小規模企業白書からも出題される場合があります。また、中小企業を取り巻く経営環境などについて、中小企業白書や小規模企業白書のデータを元に出題されません。

しかし、中小企業白書と小規模企業白書はページ数にして合計800ページ以上ある分厚い冊子ですので、全部覚えるのはなかなか大変です。そのため、ポイントを絞って覚えることが重要です。逆に言うと、出題範囲は中小企業白書、小規模企業白書に限られているため、他の暗記系科目である経営情報システムのように、対策すらしていない範囲から出題されるということはめったにありません。

本書では2022年度版中小企業白書・小規模企業白書より、試験で問われそうなポイントに絞って引用しながら、その内容を紹介しています。

中小企業政策の分野では、中小企業基本法や小規模企業基本法、中小企業憲章といった中小企業に関わる法律や、中小企業向けの施策の内容について問われます。

中小企業経営の分野は毎年内容が変わりますが、中小企業政策は法や制度の改正がない限り大きな変化はありませんので、多年度で挑戦される方はこちらの中小企業政策の分野で得点を稼ぐというのも戦略の1つです。

中小企業経営・中小企業政策の科目は基本的に白書や法律、施策の内容をどれだけ知っているかが問われるものですので、理解というよりはこれらをどれだけ暗記しているかが重要になってきます。なお、暗記方法などに関しては、コラムで解説していますので、よろしければ参考にしてください。

## 2. まとめシート

SHEET 1	中小企業の動向①	260
SHEET 2	中小企業の動向②	264
SHEET 3	資金調達と危機を乗り越えるための取り組み	268
SHEET 4	事業環境変化への対応、デジタル化	272
SHEET 5	事業承継とM&A、小規模企業白書	276
SHEET 6	中小企業関連の法律	280
SHEET 7	お金関係の支援	284
SHEET 8	創業と経営力強化の支援	288
SHEET 9	下請企業の保護	292
SHEET 10	経営安定対策と海外展開支援など	296
SHEET 11	組合・高度化事業	300
SHEET 12	共済制度・融資制度	306
SHEET 13	いろいろな計画まとめ	310
SHEET 14	補助金制度	316

# 1. 中小企業の動向①

## 【中小企業の企業数・従業員数】

	企業数・割合	従業員数・割合
中小企業	358万者 99.7%	3,220万人 68.8%
小規模事業者	305万者 84.9%	1,044万人 22.3%



## 中小企業・小規模企業の企業数・従業員数（2009-2016）

企業数	従業員数
一貫して減少	減少

## 業種別の企業数と従業員数

企業数  
 小売→宿泊・飲食サービス→建設→製造  
 ※小規模の4位は生活関連サービス・娯楽  
 ✓直近(2014-2016)ではすべての業種で企業数が減少

従業員数  
 製造→小売→宿泊・飲食サービス→建設  
 ※小規模の1位は建設

## 【経営指標】

### 経営指標の推移

指標	中小企業の推移
売上高	2021年第1四半期を底に緩やかな増加傾向
経常利益	2020年第3四半期を底に緩やかな増加傾向
設備投資	2020年は減少傾向→ 2021年はわずかに増加
ソフトウェア投資	2021年に入り増加傾向→ 足元では横ばい
研究開発費	緩やかな増加傾向だが 売上高に占める割合は横ばい
能力開発費	増加傾向にあるが 売上高に占める割合は横ばい

➢2021年の売上高は2019年比で生活関連サービス・娯楽、宿泊・飲食サービスで引き続き大幅減

## 業種別の経営指標（2020）

指標	全産業	最大	最小
ROE	7.40	サービス（他に分類されないもの）	宿泊・飲食サービス
売上高 経常利益率	3.25	不動産・物品賃貸	宿泊・飲食サービス
総資本 回転率	0.97	小売業	不動産・物品賃貸
自己資本 比率	39.21	情報通信	宿泊・飲食サービス
財務 レバレッジ	2.55	宿泊・ 飲食サービス	情報通信
付加価値 比率	25.54	サービス（他に分類されないもの）	卸売

## 【中小企業の売上高・付加価値】

	売上高・割合	付加価値・割合
中小企業	629兆円 44%	135兆円 53%
小規模事業者	136兆円 10%	36兆円 14%



## 中小企業・小規模企業の売上高・付加価値（2011-2015）

売上高	付加価値
一貫して増加	増加

## 業種別の売上高と付加価値額

売上高  
 中小 卸→製造→建設→小売  
 小規模 建設→製造→卸→小売  
 付加価値  
 中小 製造（お）→卸→建設→小売  
 小規模 建設→製造→不動産→小売  
 不幸が 消えた♪

## 【中小企業の開廃業】

開業率：5.1% 廃業率：3.3%  
 ✓廃業率は2010年度からは低下傾向

## 開業率と廃業率（業種別）

	開業率	廃業率
①	宿泊・飲食サービス	宿泊・飲食サービス
②	生活関連サービス・娯楽	生活関連サービス・娯楽
③	電気・ガス・熱供給・水道	金融・保険

## 開業率・廃業率ともに高い業種

宿泊・飲食サービス、生活関連サービス・娯楽

## 開業率・廃業率ともに低い業種

運輸・郵便、鉱業、複合サービス

## 外国との比較

日本は外国と比べると開業率も廃業率も低い

## 【中小企業の倒産】

倒産件数  
 2009年以降減少傾向  
 2021年：約6,000件（57年ぶりの低水準）  
 ✓倒産件数の大部分は小規模

## 【中小企業の休廃業・解散】

休廃業・解散件数（2021）  
 東京商工リサーチ：4.4万件 前年比 -10.7%  
 帝国データバンク：5.5万件 前年比 -2.5%

## 休廃業・解散企業の実態

代表者年齢の構成比  
 最多は70代の43% 70代以上は6割超

損益別構成比：黒字が約6割未満  
 前年より低下

休廃業は黒字でも難しい...

### 中小企業の企業数・従業員数

日本の企業数（2016年度）は約359万者で、そのうち中小企業の企業数は約358万者で99.7%を占めます。さらに、その中で小規模事業者は約305万者で、全体の84.9%を占めます。

従業員数は日本全体で4,679万人、そのうち中小企業の従業員数は3,220万人と68.8%を占めます。そのうち、小規模事業者の従業員数は1,044万人で22.3%を占めます。（「かず君を食うな（997）」、「従業員は6人目のパパ（688）」と覚えましょう）

2009年から2016年の企業数は、中小企業、小規模企業ともに一貫して減少しています。また、2009年と比較した2016年の小規模企業の従業員数も減少しています。

2016年の企業数を業種別にみると、中小企業の場合、数が多い順に小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業、製造業となっています。直近（2014年、2016年）ではすべての業種で企業数が減少しています。また、従業員数は数が多い順に製造業、小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業となっています。企業数は「小さな宿を建てて製造」、従業員数は、博多弁風に、「数が多いのは『成功やけん』（製、小売、宿、建）」と語呂合わせで覚えると覚えやすいです。

小規模企業の場合、企業数の第4位が生活関連サービス・娯楽業となり小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業、生活関連サービス・娯楽業の順ですが、従業員数は建設業、製造業、小売業、宿泊・飲食サービス業の順と、中小企業の第4位である建設業が1位となっています。

### 経営指標

中小企業の売上高は、2016年半ばより増加傾向となっていました。しかし、2019年以降は減少傾向に転じ、感染症の影響によりさらに減少しましたが、2021年第1四半期を底に緩やかな増加傾向に転じています。また、売上高を2019年同期比と比較すると、依然として多くの業種で回復しておらず、特に生活関連サービス・娯楽業、宿泊・飲食サービス業においては大幅減となっており、引き続き厳しい状況にあります。

経常利益は、売上高同様、リーマン・ショック後に大きく落ち込んだ後は緩やかな回復基調が続いてきましたが、2020年に入ると、感染症の影響により減少に転じました。その後は、2020年第3四半期を底に再び緩やかな増加傾向にあります。

設備投資は、2020年には減少傾向となりましたが、2021年に入ると僅かに増加しています。

ソフトウェア投資は、長期にわたって横ばい傾向で推移してきましたが、2021年に入ると増加傾向となり、足元ではおおむね横ばいで推移しています。

研究開発費は、緩やかな増加傾向であるものの、売上高に占める研究開発費の割合は横ばいの傾向が続いており、同業種の大企業と比べて低水準にあります。

能力開発費は、大企業と比較して規模が小さいものの、増加傾向にあります。一方で、売上高に占める能力開発費の割合を見ると、業種にかかわらずほぼ横ばいで推移しています。ただし、同業種の大企業に比べて研究開発費ほどの格差は存在していません。

また、中小企業の各経営指標（2020年度）の全業種平均値と指標が最大の業種、最小の業種については下記の通りとなります。

ROE（自己資本当期純利益率）は7.40%で、指標が最大の業種はサービス業（他に分類されないもの）、最小の業種は宿泊・飲食サービス業です。

売上高経常利益率は3.25%で、指標が最大の業種は不動産・物品賃貸業、最小の業種は宿泊・飲食サービス業です。

総資本回転率は0.97%で、指標が最大の業種は小売業、最小の業種は不動産・物品賃貸業です。

自己資本比率は39.21%で、指標が最大の業種は情報通信業、最小の業種は宿泊・飲食サービス業です。

財務レバレッジは2.55%で、指標が最大の業種は宿泊・飲食サービス業、最小の業種は情報通信業です。

付加価値比率は25.54%で、指標が最大の業種はサービス業（他に分類されないもの）、最小の業種は卸売業です。

### 中小企業の売上高・付加価値

2015年のすべての規模の企業の売上高に占める中小企業の割合は44%、小規模企業の割合は10%です。また、すべての規模の企業の付加価値額に占める中小企業の割合は53%、小規模企業は14%となっており、売上高の場合と比較すると付加価値額の中小・小規模企業の比率は若干高めです。中小企業の売上高と付加価値の比率は「売上は獅子（44）、付加価値はゴミ（53）」と覚えておくと良いでしょう。

2015年の売上高を業種別にみると、中小企業では高い順に卸売業、製造業、建設業、小売業、小規模企業は建設業、製造業、卸売業、小売業となっています。中小の売上高は「押せ！健康！（卸、製、建、小売）」、小規模の売上高は建設→バリューチェーン（製造→卸→小売）と覚えると良いでしょう。また、付加価値額を業種別にみると、中小企業では高い順に製造業、卸売業、建設業、小売業、小規模企業は建設業、製造業、不動産業、小売業となっています。中小の付加価値額は「製造業を（お）健康に」、小規模は「消せ！不幸」（建、製、不、小売）と覚えると良いでしょう。

### 中小企業の開廃業

厚生労働省「雇用保険事業年報」によると、我が国の開業率は、1988年をピークとして低下傾向に転じた後、2000年代を通じて緩やかな上昇傾向で推移してきましたが、2018年に再び低下傾向に転じました。足元では再び回復しており、2020年度の開業率は5.1%となりました。

廃業率は、1996年以降増加傾向で推移していましたが、2010年からは低下傾向で推移し、直近の2020年度は3.3%となっています。開業率は「来い！開業」、廃業率は「もうさんざん…廃業」と覚えましょう。

開業率を業種別に見ると高い順に宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業、電気・ガス・熱供給・水道業で、廃業率は高い順に宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業、金融・保険業となっています。開業率と廃業率が共に高く、事業所の入れ替わりが盛んな業種は、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業で、逆に、開業率と廃業率が共に低い業種は、運輸業・郵便業、鉱業・採石業・砂利採取業、複合サービス事業です。

なお、開業率や廃業率を外国と比較した場合、日本は開業率も廃業率も低く、開業しにくいものの一度開業すると廃業しにくい国であるといえます。

### 中小企業の倒産

---

国内の倒産件数は、2009年以降は減少傾向で推移しており、2021年は資金繰り支援策などの効果もあり57年ぶりに約6,000件の低水準となりました。倒産件数の大部分は小規模企業が占めています。

### 中小企業の休廃業・解散

---

休廃業・解散件数は調査によって異なります。(株)東京商工リサーチの休廃業・解散企業動向調査によると、2021年の休廃業・解散件数は約4.4万件で、前年比10.7%減となっていますが、(株)帝国データバンクの全国企業「休廃業・解散」動向調査によると、2021年の休廃業・解散件数は5.5万件で、前年比2.5%減となりました。

休廃業・解散企業の代表者年齢の構成比は「70代」が最も多く約43%となっています。また、70代以上が全体に占める割合は増加傾向にあり、2021年は6割超となっています。

また、休廃業・解散した企業のうち、直前期の業績データが判明している企業についての集計によると、2014年以降一貫して過半数の休廃業・解散企業が黒字でした。一方で2021年は黒字企業の割合が前年から低下し、6割未満となっています。「休廃業は黒字でも難(ムズカ)しい(6)」と覚えると良いでしょう。

# 購入特典ページご紹介

## 2023年度合格版 後編購入特典ダウンロード

2023年度版 中小企業診断士一次試験 一発合格まとめシート後編をご購入いただきありがとうございます。  
以下のページより購入特典をダウンロードください。

※購入特典は2023年12月末までダウンロード可能です。  
※何度も参照される場合は本ページをブックマークいただくと便利です。

### まとめシートPDF

【まとめシートカラー版PDF】

[経済学](#) [経営法務](#) [経営情報システム](#) [中小企業経営・政策](#)

[後編一括ダウンロード](#) 

【まとめシート白黒版PDF】

[経済学](#) [経営法務](#) [経営情報システム](#) [中小企業経営・政策](#)

[後編一括ダウンロード](#)

【（参考）まとめシートの使い方】

[まとめシートの使い方](#)

### 暗記カード用データ

【暗記カード用データ】(Excel)

暗記カード用のデータです。  
暗記カードアプリなどで利用するCSVデータにする場合は、[ファイル] - [名前を付けて保存] の [ファイルの種類] ボックス一覧から「CSV (カンマ区切り)」を選択しデータを保存します。

[経営情報システム](#) [中小企業経営・政策](#)

【暗記カード用データ】(CSV)

暗記カードアプリ「Wordholic」対応のCSVファイルです。  
文字コードの設定が完了しているので、スマホでダウンロードしアプリに取り込んでご利用いただけます。

[経営情報システム](#) [中小企業経営・政策](#)

アプリの利用方法に関しては、Wordholicの公式ヘルプガイドをご確認ください。

【暗記カード用データ】(HTML)

ファイルのダウンロードが上手くいかない場合は下記のHTMLの表をコピー＆ペーストしてご利用ください。

[経営情報システム](#) [中小企業経営・政策](#)

### 過去問

すぐやる！過去問集

[経済学](#) [経営法務](#) [経営情報システム](#)

すぐやる！過去問集（解答）

[経済学](#) [経営法務](#) [経営情報システム](#)

[問題&解答一括ダウンロード](#)

難易度×頻出度一覧表

[経済学](#) [経営法務](#) [経営情報システム](#)